

賃金引上げに向けた取組事例

CASE 2 株式会社 TFスマイル

企業データ

- ☆ 代表取締役: 鶴見 孝敏
- ☆ 本社所在地: 栃木県宇都宮市
- ☆ 従業員数: 7名
- ☆ 設立: 令和4年1月
- ☆ 資本金: 100万円
- ☆ 事業内容: いちごの生産・加工・販売



クリスマスの繁忙期
にも関わらず、クリスマスらしい衣装で出
迎えて下さった鶴見
社長

～賃金引上げで従業員のモチベーションアップ！～

株式会社TFスマイルは冬場の新鮮なイチゴを活用した洋菓子や大福や団子など和菓子の販売を行っている。

そんな同社は、従業員のモチベーションを上げることを目的として、令和6年に大幅賃金引上げを行った。鶴見社長は、「一生懸命頑張ってくれている従業員には最低賃金上昇分だけ賃金を上げるのではなく、プラスアルファの金額を上乗せした賃金引上げをして報いたいという思いがありました。実際に賃金引上げをして、従業員からも喜びの声が上がり、モチベーションも上がっているように感じます。」と語る。

同社が賃金引上げに向けてどのような取組を行ったのか迫ってみた。

～業務改善助成金活用により設備投資をして生産性・売上向上～

賃金引上げのためにはより一層の生産性向上・売上増加が必要となる。イチゴと言えば収穫時期が冬から春となるため、夏にはイチゴのストックが無くなり店舗は休業となるが、鶴見社長はイチゴを大量に冷凍・冷蔵保存できれば夏場にも商品を販売することができ売上が増加すると考えた。そのためには、現状の冷凍・冷蔵保存用ストッカーでは容量が少なく、大型の冷凍冷蔵庫が必要であった。ちょうどその折、知人から業務改善助成金の存在を知った鶴見社長は、本助成金の活用により冷凍冷蔵庫に設備投資することにした。その結果、夏場にも削りイチゴやスムージーといったイチゴ商品を展開できるようになり、売上増加につながった。また、ストックできるイチゴの量が増えたことで製造効率も上がった。「業務改善助成金があったことで設備投資ができて生産性が上がり、売上が増えたので、従業員の賃金を引き上げることができました。助成金の申請は初めてでしたが、申請の手間より得られたものの方が大きくありがたかったです。」と鶴見社長。



～今後の賃金引上げ・生産性向上の取組展望～

「賃金相場はこれからも上昇するでしょうから、生産性向上については今後も取り組んで自社の従業員の賃金に還元したい。」と鶴見社長は語る。同社は近年事業を拡大し、従業員数も増えているが、口コミなどで従業員を確保できているという。こんなところにも業務改善助成金を活用した賃金引上げの効果が出ているのかもしれない。

株式会社TFスマイルは今日も全社一丸となってイチゴ商品を消費者に届けている。

